

はぐくみ

はぐくみ 第146号
発行日 令和6年7月19日
発行 兵庫県立阪神特別支援学校

新入生を迎えて

小学部1年

小学部62期生に27名が入学しました。

入学式では、初めての体育館。初めて出会う人たちに緊張の様子でした。次の日の登校から初めて一人で学校に来る経験をし、初めての経験を少しずつ積んで、学校生活に慣れていきました。

クラス担任や友達との生活の中で楽しさを見つけ、学年での学習で大きな集団の活動を経験しています。

初めての行事、体育大会では、大玉転がしとかけっこに挑戦。本番は雨で一週間伸びましたが、練習の成果をしっかりと発揮することができました。

初めての遠足は、事前学習で学習した約束を守って遊具で楽しく遊ぶことができました。

学校生活は始まったばかり。いろいろなことを経験し、着実に力をつけて成長してほしいと思います。



中学部1年

中学部には56期生、38名が入学しました。入学式では、緊張した様子だった生徒たちも、少しずつ緊張がほぐれ笑顔が見られるようになりました。また、子どもたちの仲良くなる力はすごいもので、最近ではクラスを超えて他のクラスに遊びに行き積極的に関わる姿も見られます。

中学部初めての体育大会では、慣れない環境の中、日々の練習に一生懸命に取り組む姿に、私たち教員も元気をもらいました。

春の遠足では、バンド一青少年科学館へ行きました。科学的な遊具に目を輝かせ様々な体験をすることができました。

これからの3年間で、いろいろなことにチャレンジして心も身体も大きく成長してほしいと思います。



高等部1年

高等部1年生に、53期生47名の新入生が入学しました。入学当初は、新しい環境に緊張の様子でした。新しい友だちや、見慣れない先生たち。一緒に授業を受け、休み時間におしゃべりをし、1日ずつ過ごすにつれて、緊張がほぐれ、楽しく過ごす姿が見られるようになってきました。

入学後、初の行事となった体育大会では、クラス対抗で「台風の目」と「リレー」を行いました。クラスで声をかけあい、協力して全力で取り組む姿を見させてくれました。

高等部3年間の中で、卒業後に向け、様々なことにチャレンジし、充実した学校生活を送ってくださることを願います。



分教室1年

分教室では、記念すべき10周年の入学生、10期生が入学しました。入学当初はやはり緊張からか、ぎこちない学校生活の様子でしたが、先輩たちの動きをお手本にしながら、ほどなく分教室生としてスムーズに活動できるようになりました。

産業社会と人間という授業では、『私の高校生活』という内容で文を考え、一人一人がみんなの前でとてもかっこよく発表することができました。文化祭では、数百名の生徒の前で素晴らしい合唱を披露し、会場を大いに沸かしました。そして宿泊学習では色々なことに興味を持ち、とても楽しそうに参加して、また絆を深めることができました。

様々な活動の中で徐々に“自分”らしさを出せてきているので、それを大切にしながら、いつまでも挑戦する気持ちを忘れずに頑張っていってほしいと思います。



訪問学級より

今年度の訪問学級は、高等部2年生1名・3年生1名です。

4月にそれぞれの自宅で始業式を行った時は、教頭先生の話をしっかり聞き、普段の授業とは少し違った式典の雰囲気を感じているように見えました。

訪問学級ではご家族と情報共有をしながら、今までの経験や学習で積み重ねた力を発揮して、体調を整えつつそれぞれのペースで学習に取り組んでいます。

様々なことにチャレンジし、楽しいこと・好きなことをたくさん見つけ、充実した生活を送ってくれることを願っています。また、交流学級を中心に、学校行事や映像、手紙などで本校の皆さんと交流できることを楽しみにしています。



進路指導部より

6月10日（月）～6月21日（金）の間、高等部2年生と3年生は、5日間ずつ現場実習に行きました。現場実習では、福祉施設や企業などの実習先で行われている作業や活動を実際に体験したり、現場の雰囲気を感じたりします。保護者の皆様には、日々の体調管理や実習中の送迎、反省会への出席など、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

現場実習は、生徒にとって初めての場所であり、初めて会う人々ばかりです。緊張のため、実習初日の前日になかなか眠りにくかった生徒もいました。また、平年の6月よりも気温も高くなり、大変だったかと思います。しかし、実習が始まると、少しずつ慣れてきて実習3日目には作業がしっかりできるようになった生徒、笑顔いっぱいの生徒、黙々とがんばって作業に取り組んでいた生徒など、いろいろな生徒に出会うことができました。

作業内容は事業所によって異なります。福祉施設では、タオルたたみ、部品を袋に入れる作業、清掃や洗車、紙袋にヒモを通して結ぶ作業、ギフト用の菓子箱などの組立、アクセサリ作り、ペットフードを作る作業などをしました。また、レクリエーション活動では、近くのお店に買い物に行ったり、ウォーキングや体操をしたり、飾り作りなどをしたりしました。企業では、スーパーで商品の陳列をしたり、レストランでお漬物の盛り付けをしたり、ご飯やみそ汁を器によそったり、お皿洗いをしたりしました。

現場実習は、卒業後の生活を体験できる機会であり、進路先を考える機会の一つです。しかし、実習だけでは卒業後の進路を決めるのは難しいです。実際に様々な事業所へ見学に行って、進路決定の参考にして欲しいと思います。



また、7月1日（月）～7月18日（水）の間、高等部2年生と3年生は、進路懇談を行いました。生徒・保護者・担任・進路指導部の4者で、現場実習のことや卒業後の進路のことなどについて話し合いました。これからも、進路指導部から情報を発信できるように取り組んでまいりたいと思います。